

若手研究者コラムリレー

斉藤 麗 (さいとう れい)



プロフィール

作新学院大学経営学部スポーツマネジメント学科 准教授(学生部長)
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 経営管理
山梨県石和町出身(石和温泉) 現在、宇都宮在住
2009年 早稲田大学スポーツ科学部スポーツ医科学科 卒業
2012年 卒業後にプロゴルファーを目指すも断念し、2012年に
早稲田大学大学院スポーツ科学研究科に入学
2012年 早稲田大学ゴルフ部コーチ(2018年まで)
2018年 作新学院大学経営学部スポーツマネジメント学科 特任講師
2020年 作新学院大学経営学部スポーツマネジメント学科 専任講師
2021年 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科(博士: スポーツ科学)
E-mail: sreil@sakushin-u.ac.jp



ゼミの生徒と集合写真(2年生~4年生)
サッカー部の部長を務めているせいから、
サッカー部員のほとんどがゼミ生に!



わたしの研究

大学運動部のマネジメントについて 指導者と部員の視点から考える!



(なんでも帳)

プロスポーツに関する研究の実施



私は、大学院進学と同時に大学ゴルフ部のコーチ、すなわち指導者として部に関わるようになりました。指導者は、仕事の合間(私の場合は研究活動の合間)に部活動に顔を出し、指導するというケースが多いことから、常に部員に対して指導しているわけではありません。そのため、部員からすると指導に説得力がない、さらには、その指導を受け入れることができないという印象を持たれます。

しかしながら、指導者は部員の指導のみならず、大学への提出書類の作成、スカウティング、問題処理など部員の見えない場所でも部に関する業務を行っています。このことから、指導者の多様な業務、すなわち指導者の行動を明らかにし、部員に提示することで指導者の指導を受け入れることができるだろうと考えたことが研究の出発点です。

指導者の行動については、有名なリーダーシップ理論が存在します。しかしながら、フォロワーという部員に対する行動に限定されています。指導者の行動を明らかにするためには、どうすれば良いか悩んでいた際に管理者行動論という理論を知りました。管理者行動論は、リーダーシップ理論を超える革新的な理論とされていることから、この理論を参考にすることで指導者の行動を明らかにできると考えたのです。

その結果、「指導者行動」という新たな概念を提示することができました。この指導者行動は、「競技指向(リーダーとしての行動)」、「教育指向(教育者としての行動)」、「組織指向(管理者としての行動)」という3つの行動次元から構成されています。また、指導者行動は、部員の生きていくために必要な能力とされるライフスキルや試合場面において必要である心理的競技能力に様々な影響を及ぼしていることを明らかにしました。

今後は、「指導者行動」の一般化に向けて、継続して研究をおこないたいと考えています。

わたしの論文

斉藤麗・富岡恒陽・石川智(2022) 作新学院大学サッカー部員における心理的競技能力の属性比較. 作新学院大学大作論集(15): 131-142
斉藤麗(2021) 大学運動部における指導者行動の探求: 個人スポーツ種目を手掛かりとして. 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士論文.
斉藤麗・木村和彦・作野誠一(2021) 大学運動部における個人スポーツ種目の指導者行動に関する研究: 質的調査による仮設構造の検討. 体育経営管理論集, 13: 1-19.

私の在籍する作新学院大学は、栃木県内にある4つのプロスポーツクラブと連携協定を結んでいます。そのため、様々な事業(観戦者調査、ボランティア体験、プロスポーツクラブのスタッフを招聘した講義の実施など)をおこなっています。

また、幼少期からゴルフを行っているため、仲のいい同級生がプロゴルファーとして活躍しています。最近では、試合観戦のみならず、プライベートゴルフも行い、ゴルフ界の発展について議論しました。

このような経緯から、大学運動部に関する研究のみならず、プロスポーツを対象にした研究を実施したいと考えています。プロスポーツクラブやスタッフ、さらにはプロスポーツ選手を対象にした調査を実施し、プロスポーツがより豊かになればと考えています。



小学生から仲間の池田プロとゴルフ界の発展について議論!



日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました! → [メーリングリスト登録フォーム](https://forms.gle/zGMPdPa5fY3kcB5q2):

<https://forms.gle/zGMPdPa5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com

